



六 郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 9. 14

No. 18

子ども達の主体性を生かすために

ある保護者の方が、今回の学習発表会は「子ども達の主体性を生かしているものであった。」とおっしゃってくださいました。この言葉は、正に学校として一番に大事にしてきたことであり、校長としては本当にうれしい言葉でした。学習発表会のためだけの踊りや劇は、確かに見栄えがして華やかです。しかしながら、既成のものを使うだけに、担任主導の練習になってしまいます。子ども達は、担任に注意されたことに懸命に応えようとがんばります。そこにも大事な教育的意義はあるとは思いますが、これからの社会を生き抜く力ではないと感じます。

「主体性、つながり、自分」という学校教育目標のキーワードは、これからの社会を生きていく上で、特に必要な力であると考えて定義しました。その中の「主体性」を、この学習発表会でもつけさせたいものだと考えてきました。昨年の学習発表会でも、ある学年が子ども達に任せて発表させました。今回は、すべての学年が、何らかの形で子ども達に任せたり、子ども達の発想を生かしたりしています。そのことによって、子ども達は「自分達の学習発表会である。」ととらえ、自分から練習に積極的に取り組んでいることが感じられました。

これまでの取組を象徴する「全校音楽集会」

① 音楽を自分達も楽しめる集會に

今年から始めた「音楽集会」。立派なものを発表する会ではなく、みんなが集って、とにかく「音楽を楽しめる集会」にしたいと考えてきました。中学生の歌に感動したり、6年生の発表に思わず体を動かしたり。先生方もウケをねらって思わず弾けてしまいました。こういった、思う存分楽しむ時間が学校には必要だと思います。



② 音楽は人を感動させられる。

保護者の方々から、「全校合唱は感動した。」と感想をいただきました。特にスマイルアゲインは、ソロから始まって少しずつ人数が増え、最後には全員で大合唱するという演出でした。その企画もすばらしかったのですが、ソロの歌に希望してくれた子ども達が、本当に真剣に歌ってくれたことが、全校のすばらしい歌声を導いてくれたように感じました。「音楽は人を感動させることができる。」ということをぜひ体験させたかったのですが、それが今回実現できたことは、本当にうれしいことでした。



③ バザーの方々も見ることもできた。

右の写真のように、最後の全校音楽集会は、大観衆となりました。後で聞いて分かったのですが、バザーに関わってくださっている方は、毎年本番をほとんど見るができなかったのだそうです。それが、午後の部に全校音楽集会が行われたことで、初めて本番をご覧になったそうです。そういった意味でも、今回の全校音楽集会は意味があったと思います。



子ども達の感想から

5年

4年生の時は、ほとんど先生が決めていたので、先生にしたがって発表などをしました。5年生になってからは、自分達で発表を考えて、リーダーを中心にしながらいっしょけんめいがんばりました。小道具を自分たちで作ったり、かし借りしたりして友達と協力しながらがんばりました。先生や友達にまかせずに積極的に協力をしたら、その次のことにすばやくいけることが分かりました。また、前の人がお話を終わって、自分が話す前に2秒間ぐらい待ってから話した方が、お客様などに聞こえやすいことが分かりました。しっかりやりとげることだったり、お客様にやさしくすることも大切だと分かりました。

来年は6年生なので、今の6年生みたいに、お客様にいていい言葉使いで、やさしく笑顔でがんばりたいと思いました。また、発表の時は大きな声で、みんなに聞こえるような声で、係の仕事は、自分から進んで手伝えるようにがんばりたいと思います。

5年

(前略) 最後に6笑コンサートで歌ったことです。最初に歌うと聞かされた時は、びっくりしましたが、先生達から「自信をもて!」と言われたときは「がんばりたい!」と思いました。そして当日、とてもきんちょうしたけれど、先生から「さんの歌声はとてもいいから、自信をもって歌って!」と言われ、前向きにがんばろうと思いました。そして歌いおわって、先生に「あなたの歌声、とてもよかったよ! きれいだった。」と言われ、とてもうれしかったです。先生からは、たいこ部のこともほめてもらってうれしかったです。これからの自分は、何でもちょうせんしてみ、ダメだったら、また新しいことにちょうせんしてみ、前向きにいこうと思いました。



6年

今日は学習発表会がありました。私がんばったことは、自分のセリフを、きちんとハキハキ言えたことです。小学校生活最後の学習発表会だったので、しっかりと頑張れて良かったです。私は自分で決めた「めあて」をしっかりとやることができましたし、自分のセリフの練習の時よりも、ゆっくり言えるようにがんばることができました。私は、どの学年の発表もしっかりと頑張っていて、すごいなと思いました。これまで練習してきた成果をしっかりと出すことができました。学習発表会が成功して良かったと思いました。

6年

今日は六年間で最後の学習発表会がありました。私は、とてもとてもきんちょうしていました。でも、劇が始まったしゅんかん、きんちょうがとれました。良かったです。私は、最後の学習発表会という事を胸に刻みこんで、最後まで一生けん命がんばりました。今日の私の良かった所は、声も大きく出せていたし、ゆっくり話せたので良かったです。午後の音楽集会では、ヤングマンと終わりのあいさつを頑張りました。ヤングマンでは、一輪車の空中乗りで三人メリーゴーランドをやりました。休み時間や放課後に練習した成果がぞんぶんに発きできたので良かったです。終わりのあいさつでは、いつも以上に大きな声でゆっくりと話せたので良かったです。今日の学習発表会と音楽集会は、大大大大成功でした。とってもうれしかったです。

子ども達に任せることで身につく力

5年生の　さんの文章は、正に今回の学習発表会の取組の良さを表してくれています。普通の学習発表会であれば、当然担任が主になって指導を進めるのです。しかしながら、各学年部は「子ども達に任せてみよう」と考えて、練習を進めてくれました。そのおかげで、子ども達一人ひとりに、こんなにも充実感を与えることができました。結萌さんの文章にあるように、我々教員がやるべき事は、子ども達が主体的に取り組んだことを誉めればいいのだと教えてくれます。　さん、　さんの文章からは、6年生としてどれだけの思いをもって学習発表会に臨んだのかが伝わります。自分達で考え、自分達で努力したことで、その満足感は計り知れないのだと気付かされます。フィナーレを飾った「全校合唱」は、多くの方々に感動を与えました。その感動は、子ども達の意欲がもたらしたものだ確信しています。